

中長期保全計画

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

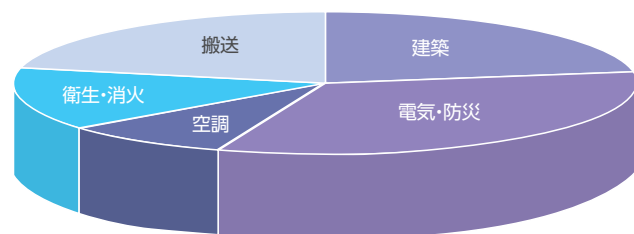
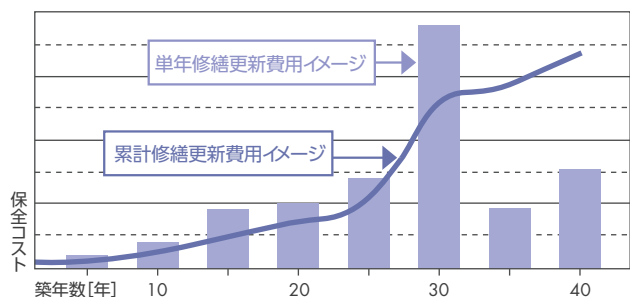
建物の将来を見据えて、最適な保全計画を提案いたします。
ライフサイクルコストの管理をはじめ、様々な課題を解決いたします。

建物を長期にわたり良好な状態で使用するには、計画的な修繕が不可欠です。
また、環境対策や省エネルギー・節電対策への取り組み、建物機能の陳腐化対応等の社会的要請に適切に対処していくことも必要となります。
企業や団体は、保有・使用する建物群に対して、これらの建物に係る将来的支出を長期的に予測し、
企業経営、団体運営におけるファシリティ戦略に役立てていくことが求められています。

多くの実績によって蓄積された 基礎データを基に、 実態に即した中長期保全計画をご提案

中長期保全計画は、豊富なデータを基に、建物の構成部材や設備機器の耐用年数、計画立案段階における劣化状況を考慮して作成します。

将来発生する道連れ工事等を把握し、二重・三重の事後保全工事（無駄な工事）を最小限に抑えた、効率の良いリニューアル計画を策定するための基礎資料となります。



修繕費用割合[参考]

統合化された保全計画を策定し、 「不動産運営の健全化」をバックアップ

中長期保全計画、リニューアル計画、省エネルギー改修計画を統合することで、建物として必要な保全計画を一つにまとめ上げることが可能です。

日建グループでは、中長期保全計画を皮切りとした総合的な保全計画策定のバックアップを行います。

